

輸出事業計画

※申請者名：株式会社福岡ソノリク、品目：さつまいも

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- ・ 県下でも有数の畑作地域である五島地域では、かつての生産団地として栄えていた葉たばこに変わる新たな品目としてさつまいもの産地化に取り組んでいる。当社と産地で「さつまいも産地化プロジェクト」を立ち上げ、さつまいもの産地化を推進している
- ・ 輸出ターゲット国であるタイでは、日本からのさつまいもの輸出実績は成長しており、量販店を中心に青果や焼き芋として展開されている

【課題】

- ・ さつまいもの特徴や付加価値づけを行うこと
- ・ 焼き芋焼成・冷凍工程におけるタイ向け認証の取得
- ・ キュアリングや加工作業に、コストや時間がかかり過ぎていること

2. 輸出事業計画の取組内容

【生産】

- ・ 有機質を増やし色味が改善するかを実証
- ・ 地域特産物の廃棄物を利用し環境循環型を検討して推進
- ・ 有機栽培やGGAP認証等を検討し、輸出さつまいもとして付加価値を上げていくことを検討
- ・ 甘藷生産に詳しい専門家（農家やJA指導員）を招聘して、収量向上へ向けた栽培プロセスや技術指導を実施

【加工】

- ・ タイ向け輸出に必要なGMP認証や梱包証明、園地登録を推進
- ・ さつまいもの選果・冷凍、その他加工を行う加工場を建設

【物流】

- ・ 地域内でキュアリングや加工を行えるようにし、鹿児島まで輸送しなくても輸出できるよう、物流ルートの確立を図る

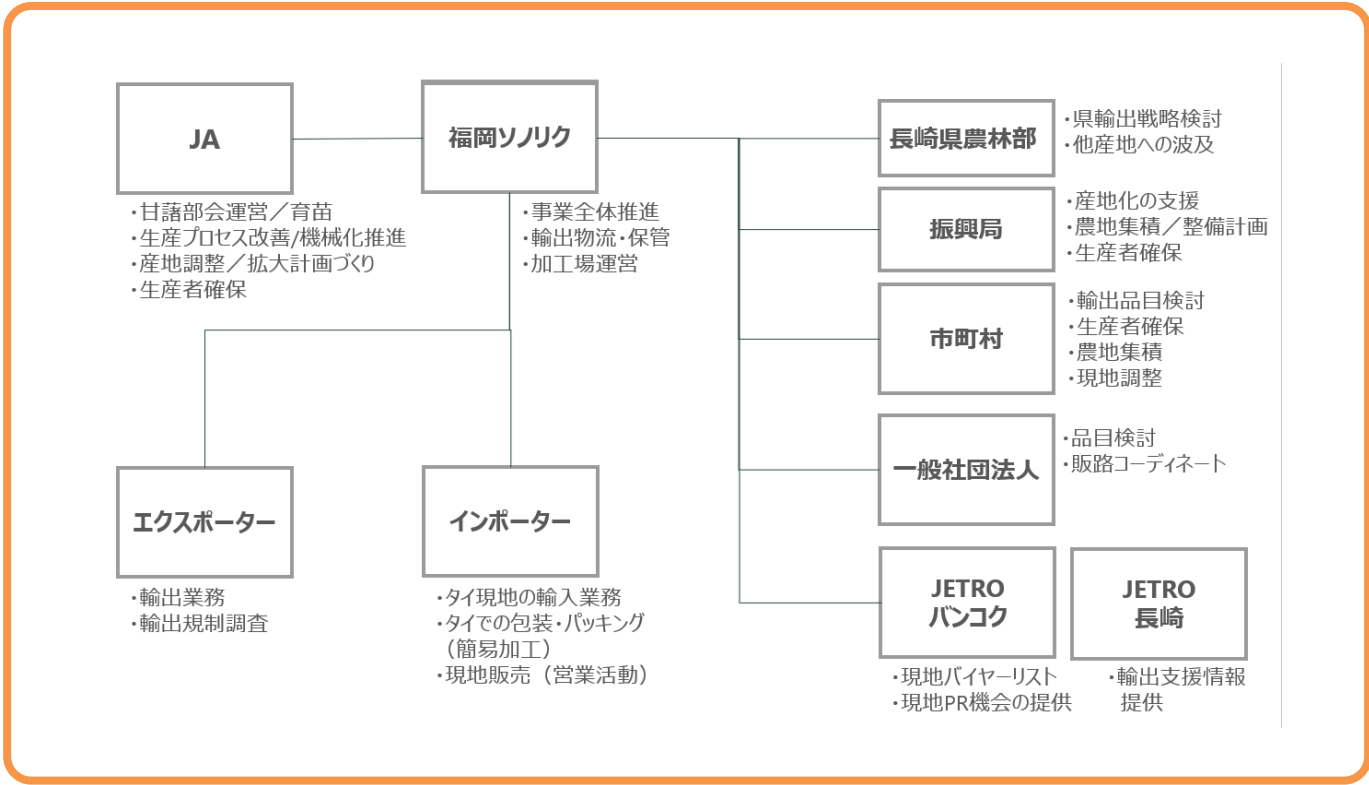
【販売】

- ・ カフェレストランやホテルのシェフ・バイヤーに向けて、営業活動を実施し、業務用開拓を推進
- ・ 冷凍焼き芋、さつまいもスイーツ等の加工品展開を推進
- ・ さつまいもの商品化・ブランディングを検討し、量販店、外食への認知向上、興味喚起を図る
- ・ 現状は量販店主体だが外食・ホテル等の業務用を5割程度まで伸ばしていく

輸出事業計画

※申請者名：株式会社福岡ソノリク、品目：さつまいも

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

		現状 (令和 4 年) (2022年 4 月～2023年 3 月)	目標年 (令和 8 年) (2026年 4 月～2027年 3 月)
長崎県 当該地域	輸出額 (千円)	4,160	40,000
	輸出先国	タイ	タイ